

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス フーレイ 小方教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23 家庭	(回答者数) 21 家庭
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 名	(回答者数) 8 名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 8日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者(当事者・ご家族)様の安心感</li> <li>・要望に対する臨機応変な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨機応変かつ迅速な対応</li> <li>・お子様やご家族様の困りごとについてどこまで対応できるか・何が難しいのかを話し合いによって明確化し、やってみながら再度話し合いを重ねていくこと。</li> <li>・活動や対応についての細やかな説明。</li> <li>・将来を見据えての就労施設の見学会。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングや日々の連携をより充実させながら、困りごとにつながりそうな事柄を早期発見・共有・対応していく。</li> <li>・様々な機関と連携を深めつつ、より多くの情報を収集していく事で、困りごとに対する解決策・選択肢をより広げていく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充実したプログラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節が感じられるイベントを取り入れる。</li> <li>・外出や公共交通機関に乗る機会を定期的に設けることで、公共交通マナーや将来に必要な力を養えるようにする。</li> <li>・子ども自身が選択し、成功体験を得られる活動や提案の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他機関の協力や地域のつながりをより強固にしなが、より多くの選択肢を設けられるようにしていく。</li> <li>・地域のお祭りやイベントに参加できる環境づくり。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの提案や活遊びを活動につなげていく関連性のあるプログラム作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごっこ遊び→夏休みのカフェの実施</li> <li>・ダンス遊び→地域のお祭りでの舞台発表</li> <li>・お店屋さんごっこ→フリーマーケットスタイルの販売を実際に行う(子ども達の作品)</li> <li>・子ども達の絵を集めて展覧会</li> <li>・難聴児による手話口座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より遊びや活動を充実させながら、より多くの活動を現実化していき、子ども達の更なる成功体験や意欲につなげていく。</li> <li>・地域のボランティア団体と連携していく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の活動内容や施設内の事について、ご家族様や周囲への周知が広くされていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS(Facebook、Instagram)の発信、ご家族様には日々のお子様の様子の写真での共有やカレンダー活動の補足説明などを行っているが、書面や自分からアクションしなければ得られない情報共有であることが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは興味を持っていただける情報発信やイベントの企画。実際に現場に参加・または来所していただける機会につなげていく。</li> <li>・個人情報の観点から、SNSなどの発信には今まで通り最新の注意を払いつつ、放課後等デイサービスで何ができるのか、子ども達がどのような取り組みをしているのかを分かりやすく伝えていく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会や兄弟参加イベントの少なさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2回の保護者会や夏休みに行った2日間のカフェイベント等、毎年少しずつご家族様イベントは増やしているが、職員確保の都合上、平日がメインになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の確保や子ども達の支援時間の関係を考えると土曜日や休日の実施がなかなか難しい状態(土曜日や長期休みのみ利用の児童もいるため)。また、兄弟イベントや共働き家庭の休日参加も難しい。なるべく負担のない休日に年1回でも実施できるよう、話し合いを続けていきたい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携の脆弱さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等デイサービス自体の認知が弱く、市の部会に参加し、支援の必要性やそのために必要な協力体制・理解について伝え続けているが、現場に参加してもらい機会が少なく、伝わりにくい部分がある。また子どもの特性によっては他者の受け入れが困難な場合もあり。また、そのために何度も会議や話し合いを行う必要もあり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、毎長期休みに地域のお寺でのイベントに参加し、地域との連携の基盤を作っている。子ども達が無理なく楽しめる場で実績を積みながら、地域への周知や理解を広めていきたい。</li> </ul>